質　問　及　び　回　答　書

業務名：　令和６年度保護林モニタリング調査等及び保護林管理委員会運営業務

入札公告日：令和６年３月14日
開　札　日：令和６年４月23日
九州森林管理局　計画課

質問等	回答
・　調査対象木18cm以上の立木について、胸高部位高さ周囲にステンレス線を巻き付け固定するとなっていますが、必ず巻き付けないといけないのでしょうか。 ・　地形などで巻けない場合があったり、立木が成長した際にステンレス線が食い込む可能性が考えらますが、釘などで打ち込むことは可能でしょうか	アルミプレート製のナンバー番号表示を行うこととしている胸高直径18cm以上の立木について、 ・　今回、胸高直径18cm以上の立木に対し、ナイロン製のナンバー番号表示からアルミプレート製に変更する理由については、耐久性の劣るナイロン製では、枯損や倒木が発生した場合、過去（5年前又は10年前）の調査野帳データと比較して、これら枯損等がどの樹種、立木が該当するのか不明なことが多々あるため、追跡できるようにするものです。 ・　倒木や腐朽発生後、プレート番号の追跡に際しては、アルミプレートに取り付けた短いステンレス線だけでは、5年後（又は10年後）に発見できない可能性が高いと考えています。 ・　このようなことから、崖地、急傾斜地などステンレス線による巻き付け取り付け作業が危険又は困難な場合を除き、原則、プレート番号の発見の手掛かりが多くなるようにステンレス線による巻き付けを行っていただきます。 ・　なお、付け取りに当たっては、胸高部位の成長を勘案して余裕を持った長さによる取り付けを行うとともに、ずり落ちを防ぐため、ナンバー番号に近い左右のステンレス線をマックス針で打ち込んでいただくことを予定しています。